

2 管理の基本方針

(1) 支笏洞爺国立公園の将来目標

支笏洞爺国立公園の管理に当たっては、次の5つを将来にわたる目標とする。

(ア) 多様な火山景観を維持するとともに生物多様性を確保する。

- ・ 支笏湖、洞爺湖をはじめとするカルデラ湖、羊蹄山や有珠山、昭和新山、樽前山などの火山、噴火による自然の改変と再生の営み、地殻変動の痕跡や硫気現象など火山活動を由来とした地形・地質、広大な自然林や高山植物群落、そこに生息する野生動物と一体となった優れた自然景観の適切な保全と利用を図るとともに、環境学習の場としても活用する。

(イ) 自然景観と温泉を楽しめる保養地にする。

- ・ 都市部や空港等から利便性の良い立地を保ちつつ、原生的な雰囲気が感じられる自然景観を維持する。
- ・ 散策、自転車、カヌーなどのゆったりとした利用の促進を図る。
- ・ 温泉地では秩序ある雰囲気を維持して良質な温泉を楽しめる地域づくりを目指す。

(ウ) 地域に応じた適正な利用方法により、快適な利用の環境を確立する。

- ・ 近年増えている新たなレクリエーションも含めて多種多様な自然体験活動がもたらす軋轢を解消し、地域に応じた秩序ある利用のあり方を確立する。

(エ) 環境に配慮した公園利用を推進する。

- ・ 平成20年に開催された北海道洞爺湖サミット及びJ8サミットで得られた経験を活かし、地球環境や身近な環境問題への関心を引き起こさせる活動や低炭素化への取り組み、更なる国際化対応などを推進する。
- ・ 自然体験活動に留まらず、環境保全活動の要素を含むプログラム等を提供し、地域の自然資源の持続的な利用を推進する。

(オ) 多様な主体の参画により公園の管理を行う。

- ・ 自然環境の保全活動や公園利用施設の維持管理に当たっては、地域の活動団体や研究者、行政機関など多様な主体と連携して活動を推進する。

(2) 支笏洞爺国立公園の管理の基本方針

それぞれの将来目標を達成するため、管理の基本方針を以下のとおりに掲げる。

(ア) 本公園の特徴である様々な火山及び火山活動を由来とした原生的な自然環境を厳正に保全するため、開発行為によるこれらの改変は極力抑制する。

(将来目標 (ア)、(オ) に対応)

(イ) 人為により改変された植生の復元対策、外来種（国内移入種を含む。）対策、希少な野生動植物の保護増殖等、生物多様性の確保のために必要な施策を講じる。

(将来目標 (ア)、(オ) に対応)

(ウ) 公園利用者が日常の生活環境とは異なる火山景観や温泉現象等を身近にかつ安全に享受できるよう、また、環境学習としての場としても活用できるよう施設整備を進めるほか、地域単位等で最新の情報を提供し、自然とのふれあいの推進や新たな公園利用方策を検討する。(将来目標 (ア)、(イ)、(ウ) に対応)

(エ) 北海道洞爺湖サミットとJ8サミットでの取り組みを活かした環境配慮型施設の導入、エコツーリズム、フットパス、多言語化を含めた情報提供等リピート型・滞在型観光を積極的に施策に導入するよう検討する。(将来目標 (エ) に対応)

(オ) 関係機関、パークボランティア、NPO等の多様な主体と連携し、自然環境の保全や再生等の活動を推進するほか、公園利用者に対する情報提供の体制の確立、美化キャンペーン等地域の奉仕活動の実施により公園管理にも資する担い手の養成・支援を行うよう努める。(将来目標 (オ) に対応)

(3) 各管理計画区の管理方針

(ア) 支笏湖・定山溪管理計画区

<保護に関する方針>

- ① 当計画区の自然を構成する火山地形、及びこれらを覆っている広大な森林地帯及びそこに、生息・生育する在来の野生動植物等が一体となって優れた自然景観を形成しており、これらの環境が将来にわたり保全されるよう風致景観の保護を図る。
- ② 特異な火山地形である樽前山や恵庭岳については、その自然景観の保護は特に厳正に行う。
- ③ 本公園の象徴的存在である支笏湖の水質保全と湖水域及び周辺の風致保護を図り、原生的な湖のイメージを維持する。
- ④ 高山植物群落が確認されている樽前山、無意根山、空沼岳等の山々及び希少な動物の生息地等については、その保護を厳正に行う。
- ⑤ 支笏湖においてのチトセバイカモの群落等、希少な動植物の生息・生育地の保全に留意する。

<利用に関する方針>

- ① 都市部からのアクセスが良い特徴を活かして利用者のリピーター率を高め、身近な国立公園として利用者に親しまれる地域とする。
- ② 主要な公園道路沿線は、森林景観の保全や緑化修景による回廊的道路の創出のほか、道路付帯の工作物等の意匠に配慮した風致保護を図るとともに、展望地等においては、展望確保の維持管理にも留意する。また、公園入口部は、エントランスゾーンとしての空間づくりを図る。
- ③ 地域特性を活かしたエコツーリズム等を推進し環境教育の拠点とする。
- ④ 支笏湖及びその周辺地域においては、利用者が神秘的、原生的な自然環境をじっくりと堪能できるよう、滞在型の利用形態についてもこれを推進する。
- ⑤ 市街化の進んだ定山溪地区については、快適な温泉街としての環境整備を図る。
- ⑥ 利用施設に関しては、周辺環境との調和を重んじ、適切な施設整備及び維持管理を行う。また、地球温暖化対策等についても支笏湖温泉で開催されたJ 8サミット開催地としての経験も活かし、CO₂削減等積極的に対応するよう努める。特に環境省所管地内においては、営造的公園地区として当該国立公園のモデル地域となるよう、施設の適切な整備及び維持管理、地球温暖化対策等に対し積極的な対応を図る。
- ⑦ ビジターセンターでは、利用者が当該地域の自然への理解を深め、さらに自然に親しめるよう、展示物等の内容充実、利用者に対する適切な情報の提供、自然に親しむ各種行事の企画等を推進する。
- ⑧ 支笏湖での、動力船の乗り入れ規制の周知徹底を図る他、湖岸や園地への自動車の乗り入れ規制及び高山植生帯への歩行者の進入規制等利用者に対する誘導、規制措置を関係機関の協力のもとに適切に講ずる。
- ⑨ 地域の環境を清潔に保つとともに、野生動物の生息環境や行動等に影響を与えないことを目的として、公園利用者、施設管理者、地元清掃団体等の協力によって、美化清掃の徹底を図る。

(イ) 羊蹄山管理計画区

＜保護に関する方針＞

- ① 羊蹄山は眺望の対象として高い価値を持つことを踏まえ、山麓から山頂にかけての植物や地形等の一体的な保全を図る。
- ② 登山道沿線での登山者による高山植物の踏み付けや雨水・雪による浸食等から、植生の保護が図られるよう関係機関と調整を図る。

＜利用に関する方針＞

- ① 真狩口や半月湖等の利用拠点は、自然探勝等のための適切な施設整備を行うとともに利用者指導を推進し、自然とのふれあいの推進を図る。
- ② 避難小屋を含めた羊蹄山の望ましい登山利用のあり方を検討する。
- ③ 関係機関等との連携を図り、公園利用者に対して多言語化を含めた的確な情報提供を行える体制作りを努める。
- ④ 「ゴミ持ち帰り運動」を基本とした美化清掃活動の推進を図る。

(ウ) 洞爺湖管理計画区

＜保護に関する方針＞

- ① 当該地区特有の優れた景観となっている有珠山及びその周辺の火山地形及び火山現象を保全する。
- ② 洞爺湖の湖畔又は中島からの眺望において、前景となる湖畔林、有珠山、洞爺湖カルデラの景観を維持する。
- ③ 洞爺湖の水質が保全されるよう関係機関に働きかける。

＜利用に関する方針＞

- ① 関係機関が積極的に進めている洞爺湖と有珠山を活用した自然体験・滞在型観光を連携・協力して推進する。
- ② 特に市街化の進んだ洞爺湖温泉地区については、これ以上のスプロール化を抑制するよう関係機関と調整を図るとともに、地元の街づくりの動きと連携し地区の再開発や建築物、看板等のデザイン、地区の修景緑化等長期的な視点に立った快適な環境づくりに努める。
- ③ 湖畔を含む洞爺湖の適正な利用を推進するため、関係機関と調整を進め、無秩序な利用を防止するよう努める。
- ④ 有珠山やその周辺で噴火、有毒ガスの発生、落石等の危険のある箇所においては、利用者の危険を防止するために適切な規制や誘導方法等について関係機関と検討する。
- ⑤ 地区の美化清掃については、美化清掃実施団体による清掃活動が適正に行われるよう指導する。
- ⑥ 関係機関等が連携・協力して、利用者に対して国立公園内外の施設も含めて、的確な情報提供が行える体制作りを推進する。

(エ) 登別管理計画区

＜保護に関する方針＞

- ① 登別の温泉市街地を取り巻く森林や火山地帯及び倶多楽湖カルデラ内側の自然環境の保全を図る。
- ② 北部の山岳地帯は、現在の自然環境の保全が図られるよう努める。
- ③ 原生的な倶多楽湖の風致の保護及び清澄な水質の保全を図る。

＜利用に関する方針＞

- ① 周囲の森林植生や火山地形を活用した自然体験・滞在型観光を地元と協力して推進する。
- ② 市街化の進んだ登別温泉街については、地元の街づくりの動きと連携して地区の再開発や建築物、看板等のデザイン、色彩の統一等長期的な視点に立った快適な環境づくりに努める。
- ③ 地獄谷や大湯沼周辺の有毒ガスの発生や転落、熱傷等の危険がある箇所においては、利用者の危険を防止するために適切な規制や誘導方法等を関係機関と検討する。
- ④ 地区の美化清掃については、美化清掃実施団体による清掃活動が適正に行われるよう指導する。
- ⑤ 関係機関等が連携・協力して、利用者に対して国立公園内外の施設も含めて、的確な情報提供が行える体制作りを推進する。